

2022年

4月16日(土)～6月12日(日)

前期:4月16日(土)～5月15日(日) 後期:5月17日(火)～6月12日(日)

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:月曜日

主催:神奈川県立近代美術館、東京新聞

助成:ポリアート振興財団
POLIA ART FOUNDATION

観覧料:一般1,200円/20歳未満と学生1,050円/
65歳以上600円/高校生100円

◎中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。◎「生誕100年 朝倉 摂」展の観覧券で、同日に限りコレクション展「手跡(てあと)をたどる 特集:中尾誠」をご覧ください。

◎ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日:5月1日、6月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同日の会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」は中止します。◎その他の割引につきましてはお問い合わせください。◎最新情報とご来館に際してのお願いは美術館ウェブサイトかお電話でご確認ください。

絵画、舞台、絵本——
知られざる創作の全貌に迫る、初の回顧展

生誕100年 朝倉 摂展

The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

Setsu Asakura:
A Centennial
Retrospective

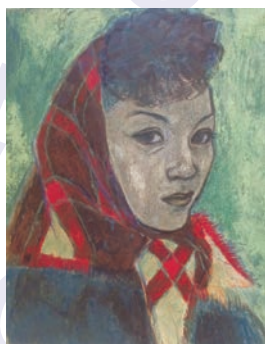


《更紗の部屋》1942年 顔料、紙 練馬区立美術館

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

画家・舞台美術家として活躍した朝倉摂(1922-2014)の全貌に迫る、はじめての本格的な回顧展です。彫刻家・朝倉文夫(1883-1964)の長女として東京・谷中に生まれた朝倉は、17歳のときから日本画家・伊東深木に学び、モダンな人物像を洗練された色彩感覚で描き出し、若くしてその才能を認められました。戦後は新制作協会に所属し、パブロ・ピカソやベン・シャーンなど海外作家の研究を通して、新しい絵画表現を模索します。炭鉱や漁村の労働者に取材を重ね、60年安保闘争などの社会問題に取り組む中で、演劇やデザインなど多様なジャンルの芸術家との共同制作に可能性を見出し、60年代半ば以降は舞台美術へと活動の比重を移しました。

本展では、これまでほとんど知られていなかった絵画作品40点余りと素描に加え、舞台美術の模型やデザイン画、資料、絵本原画を含む計約200点を展示し、その多彩な魅力を紹介します。



〔新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い〕

- ◎発熱や体調不良がある方は、ご来館をお控えください。
- ◎入館時に手指を消毒し、マスクを着用してください(着用が推奨されない乳幼児や障害者へはご配慮をお願いします)。
- ◎混雑状況により、入場制限を行う場合があります。

〔同時開催〕

コレクション展「手跡(てあと)をたどる 特集:中尾誠」(展示室3b)

〔葉山館への交通案内〕

◎電車とバス: JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「逗子・葉山」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要時間約20分)。

◎車: 横浜横須賀道路逗子インターチェンジ、または横須賀インターチェンジからそれぞれ7~8km。

〔葉山館駐車場(有料)のご案内〕

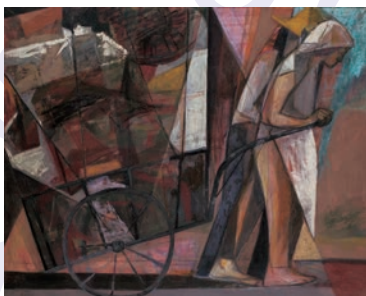
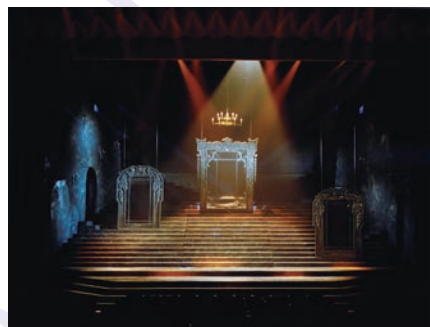
営業時間: 午前8時30分~午後6時(入庫は午後4時30分まで)

駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算): 普通車400円、大型車1,200円

*「生誕100年 朝倉摂」展の観覧券をお持ちの方は1時間無料です。

*レストランやショップで2,000円以上ご利用いただいた方は、1時間無料(併用で最大2時間無料)となります。

*貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。Tel: 046-875-2800



神奈川県立近代美術館 葉山 The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel. 046-875-2800

2208-1, Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

@KanagawaMoMA

左上より ◎『スイッチャー』原画(作:大佛次郎)1971年 アクリル、イラストボード 大佛次郎記念館 ◎『自画像』1947-1950年 顔料、紙 ギャラリー・パリ ◎『日本1958-2』1958年 顔料、紙 山口県立美術館 ◎『ハムレット』舞台写真(演出:蜷川幸雄)1978年 ◎『カーレンちゃん』原画(作:アンデルセン)1973年 水彩、サインペン、紙 神奈川近代文学館(前期展示) ◎『「にぎり江」舞台下図』(演出:蜷川幸雄)1984年 アトリエ・アサクラ ◎『夫婦』1953年 顔料、紙 神奈川県立近代美術館

